

式 辞

春の嵐が過ぎ、桜の花がおだやかな陽ざしの中で咲きそろう今日の佳き日、滋賀県立虎姫高等学校 第六十八回入学式を挙げていただけますことは、本校にとりましてこの上ない慶びとするところであります。

ご来賓の皆様には、公私ともにご多用の中、ご臨席を賜り、高壇からではございますが、厚くお礼申し上げます。また、ご列席頂きました保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、ただ今、入学を許可しました二百名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはこれから始まる高校生活への希望と緊張感で胸が一杯だと思いますが、今の気持ちを忘れず、新しい友達や先輩、先生との出会いを大切に、充実した高校生活を送ってください。

本校は大正九年に旧制県立虎姫中学校として開校して以来、今年で創立九十三年となります。この間、伝統ある湖北の進学校として、地域の期待と信頼を集め、現在、一万九千人を超える卒業生の皆さんが様々な地域や分野で活躍をされています。

そのような先輩たちから、創立以来、脈々と受け継がれ、醸成されてきた本校の校風が「質実剛健」の精神で、表面を飾り立てず、中身が充実していて、たくましくあれという精神です。そして今もその実践たる「文武両道」を方針とし、学習活動はもちろん、部活動、生徒会行事や学級活動、ボランティアなど、様々な活動を通して自らを鍛錬し、知・徳・体それぞれにバランスのとれた人格形成を目指しています。

また、校歌の三番には「山には独立自尊の容」「水には方円自在の力」という歌詞があります。「伊吹の山のように、落ち着いた風格を大事にし、自分に自信と誇りをもって生きよう」「琵琶湖の水に、四角にも円にも自由自在になる力があるように、柔軟なものの考え方のできる豊かな感性や知性を持つ」という意味を汲み取ることができます。この「独立自尊」「方円自在」もまた、虎姫高校が大切にしてきた言葉です。

今日の社会は、情報化の進展とともに、人々の意識や判断の変化がめまぐるしくなり、じっくりと物事を見つめたり、考えたりすることがしにくい傾向が広がっているように感じます。また、「すぐに役に立つこと」を求めたり、「模範解答」を得るだけで満足したりする「皮相な学び」が広がっているように思うこともあります。しかし、このような時代だからこそ、自分が知りたいと思うことを最後まで究めることを大切に、また他の方法や考え方がないかを考え抜くような「深化する学び」が求められているように思います。「質実剛健」「独立自尊」「方円自在」ということばを心に留め、その意味を本校での学習活動や生活の中で、具体的に実感し、理解して欲しいと思います。

虎姫高校は、昨年度から「スーパーサイエンスハイスクール」事業を推進していますが、生徒の皆さんには、本校のあらゆる教育活動を通じて身につけてほしい「3つの力と2つの態度」を提示しています。「探究力」「表現力」「協働力」そして「主体的な態度」「科学的な態度」です。相互に関連するこれらの力と態度もまた、皆さんの「生きる力」を成長させるのに大切なものであると考えています。人類が獲得してきた知識や技術を、幸福や安心安全にどう生かしていくのかを考え、行動に移せる力を育てていってください。

さて、今日から本校での学びをスタートする新入生の皆さんに、私が願うことを3つ述べておきたいと思います。

まず、すべてのことに全力で取り組んでほしいということです。学習はもちろん、部活動、学級活動、生徒会活動などにおいても、自分の全力を出し切ってみてください。そしてその中で活動の課題を見つけ、それらを乗り越える力を自分が獲得できることを信じてください。自分の可能性の大半は、今はまだ見えていないものです。自分を励まし、全力を傾けて頑張ったことの積み重ねから自信や可能性が広がっていくのです。皆さんひとりひとりが、そのような可能性を持った自分自身を大事にしてほしいと思います。

次に、自分の周りにいる人たちを大切にしてほしいということです。人はしばしば自分と異なる考え方や言動に出会うものですが、感情的にそれを否定するのではなく、お互いの考えを理解しようとする努力を続ける中で、自分一人ではできそうにないことが達成できたり、新しい知恵が湧いてきたりするものです。自分では思いつかない発想や気づかなかった答えが見つかったりすることもあるでしょう。人が何かをしてくれないと嘆くのではなく、自分は人のために何ができるだろうかと考え、できることを積み重ねていくことで、よりよい人間関係を育てていけるのだと思います。

最後に、自分自身が規則正しい生活を送り、心や体の健康に気をつけること、そして社会生活の中で守るべきマナーを大切にしてほしいということです。作家の中野孝次さんは「作法は他者と同じ社会に共生するための方法」であり、他者を認めるとともに自己を生かす手立てでもあると述べています。皆さんも、例えば「あいさつをする」「時間を守る」「身だしなみを整える」など、具体的な行動を継続することを通して、自由な時間を使いこなす力や、周りの人からも理解される個性をしっかりと育ててほしいと思います。

保護者の皆様。本日よりお子様は高校生として、自立の道を歩まれることとなります。青年期の悩みや課題に、保護者としてこれからも優しさと厳しさをもってご指導くださるようお願い致します。私ども教職員一同、ご家庭と連携をとりながら、全力を挙げてお子様の教育に取り組む所存です。本校の教育方針をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、ご臨席賜りましたご来賓の皆様におかれましても、今後も本校生徒を温かく見守っていただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

多くの皆さんに見守られる存在から、他の人を支える力を持った大人へと成長していけるよう、新入生の皆さんの、今日からの高校生活が仲間と共に実り多いものとなりますことを心から祈念し、式辞といたします。

平成二十五年四月八日

滋賀県立虎姫高等学校長

武 友 建 史